

患者様からのご意見・ご要望

日々患者様より頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(= 継続掲載項目)

ご意見・ご要望	改善等																													
ご意見・ご要望について	ご意見・ご要望については病院だよりに随時回答をさせていただいておりますが、今までの回答内容を一覽で中央棟1階放射線部受付横の掲示板に掲示することと致しました。ご回答済みの内容と同様のご意見を多く頂きますので、ご意見を頂ける前に一通りご覧いただけるようご協力ください。																													
エレベーターの待ち時間	『エレベーターの待ち時間』につきまして、対策の進捗状況を報告致します。 先般、車椅子用の操作ボタンのカバーの設置、エレベーター内のクッション取り外し、扉開閉時間の調整を行わせていただきました。このことにより、次のように改善されました。平均待ち時間がピークで30%改善されており(下表)、エレベーターが1台増設されたと同様程度の効果が現れました。今のところ改善できる範囲で対応させて頂きました。今後更に改善できる方法が出来ましたらご案内させていただきます。																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">改善前 2002/11/18(月)</th> <th colspan="2">改善後 2003/2/3(月)</th> </tr> <tr> <th>ピーク時間 13時~14時</th> <th>1日(平均)</th> <th>ピーク時間 13時~14時</th> <th>1日(平均)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>78.0秒</td> <td>45.8秒</td> <td>54.3秒(30%減少)</td> <td>38.6秒(26%減少)</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td>442人</td> <td>4070人</td> <td>404人(9%減少)</td> <td>4152人(2%増加)</td> </tr> <tr> <td>ボタン押し回数</td> <td>532回</td> <td>5768回</td> <td>309回(42%減少)</td> <td>3615回(37%減少)</td> </tr> <tr> <td>車椅子ボタン</td> <td></td> <td>39.8%</td> <td></td> <td>4.1%(90%減少)</td> </tr> </tbody> </table>		改善前 2002/11/18(月)		改善後 2003/2/3(月)		ピーク時間 13時~14時	1日(平均)	ピーク時間 13時~14時	1日(平均)	平均待ち時間	78.0秒	45.8秒	54.3秒(30%減少)	38.6秒(26%減少)	利用人数	442人	4070人	404人(9%減少)	4152人(2%増加)	ボタン押し回数	532回	5768回	309回(42%減少)	3615回(37%減少)	車椅子ボタン		39.8%		4.1%(90%減少)
	改善前 2002/11/18(月)		改善後 2003/2/3(月)																											
	ピーク時間 13時~14時	1日(平均)	ピーク時間 13時~14時	1日(平均)																										
平均待ち時間	78.0秒	45.8秒	54.3秒(30%減少)	38.6秒(26%減少)																										
利用人数	442人	4070人	404人(9%減少)	4152人(2%増加)																										
ボタン押し回数	532回	5768回	309回(42%減少)	3615回(37%減少)																										
車椅子ボタン		39.8%		4.1%(90%減少)																										
公衆電話が少ない	『公衆電話の台数が少ない』のご意見につきまして、対策の進捗状況をお知らせ致します。2月中旬に中央棟各病棟のデイルームに1台ずつ公衆電話(緑色のテレフォンカード使用可能)を設置致しました。ボックスになっていないため、会話の内容等が気になる場合は、他のボックスタイプの公衆電話をご利用ください。																													
予約システムについて	『インターネット予約で外来予約の変更が可能であるということをやってみたが、返事が来るのが1日1回、それも夕方、これで条件が合わないと連絡し直して、その回答がまたまた翌日夕方までこれでは、あつという間に数日が過ぎてしまう。リアルタイムで受付・回答してもらわないと全然意味が利用価値がない』のご意見をいただきました。 患者様・病院双方で予約の調整を行ないやすくなるための工夫を考えたいと思います。病院側では患者様のご希望で予約の調整が取れない場合、可能な日時、条件の幅を持たせて回答させて頂くようにさせていただきます。患者様にはできる限り調整の付く条件を記載していただけるように予約のページを修正させていただきます。メールはできる限り早めに回答できるように努力させていただきます。																													
コピー機について	『院内でコピーをしたくてもどこにもありません。白黒でも良いので設置していただきたいのですが』のご意見を複数いただきました。 小型のコピー機になると思われますが、売店に設置する予定で検討しております。																													
正面玄関の施錠時間について	『1階正面玄関について、土、日、日終日(8:00~22:00位まで)開放してください。車椅子の患者の場合どうやって中に入ればいいのか方法を掲示のこと』のご意見をいただきました。 休日・夜間は院内のセキュリティー上、開放することは望ましくないことから、終日開放については対応いたしかねます。しかしながら、車椅子の患者様が時間外に正面玄関にお越しになると、病院に入るのが非常に大変です。このため、正面玄関にインターフォンを設置させて頂きましたので、時間外に車椅子でお越しになった場合は、インターフォンをご利用ください。スタッフが正面玄関を開けるように致します。 なお、正面玄関の施錠時刻は平日7:30~18:00、土曜7:30~14:00となっております。これ以外の時間帯の病院への出入は地下1階の時間外入口(防災センター)となっておりますのでご協力願います。																													

編集後記

浅春の候 皆様いかがおすごでしょうか?
スギ花粉症に罹患していませんか?
今や都市部では早春の一時期に国民の5人に1人が発症する花粉症、私は大丈夫と思われる方も予防が大切。
適度な有酸素運動(ジョギングなど)を継続して行う。
食事はよく噛んで食べる。
ヨーグルトを食べる。などが発症予防に有効です。
規則正しい生活を心がけましょう。

広報委員会 委員 門倉 義幸

北部病院だより 第7号
平成15年3月7日発行
発行責任者 黒川 高秀(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がダウンロードできます。

北部病院だより 第7号

第7号【2003/03/07 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

「精神分裂病から統合失調症へ」

メンタルケアセンター長 工藤教授

イベント情報

病院機能評価について

患者様へのお知らせ・お願い

医師の配属・異動・退職

外来担当表

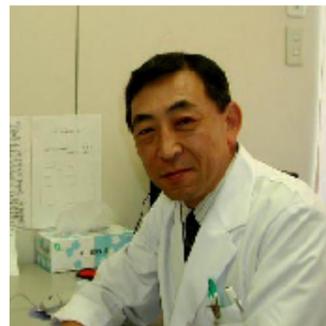
患者様からのご意見・ご要望



梅の花 北部病院の自然(西棟北側の庭にて)

巻頭言

精神分裂病から統合失調症へ



メンタルケアセンター長
工藤 行夫

精神医学の世界から精神分裂病が消えることになりました。もっとも病気そのものが突然消えるはずはなく、その呼び名(Schizophrenieの日本語訳)が「統合失調症」に改められたに過ぎないのですが、常にこの病気を中心に動いてきたといえる精神医学にとって、またこの病をもつ患者さんにとって、それはとても大きな出来事なのです。何でも必ずもめる精神科医の間でも意外にすんなり受け入れられ、いささか拍子抜けの感さえあります。

この病気がかつて早発性痴呆(若くしてぼけてしまう困った病気)と呼ばれたほどで、確たる有効な治療法も見つからず、一部の患者さんに長期の療養を強いる厳しい病であったことは事実です。「精神分裂病=不治の精神病」と悲しい偏見に、残念ながら反論しにくい時代が長く続きました。しかし特に最近、比較的軽症の例が増え、また薬物療法(抗精神病薬)の著しい進歩や生活支援体制の整備などによって、多くの患者さんが円滑な社会生活を送れるようになりました。従来の悲観的な見方は誤りであることが実証され、この病に対する理解は全く変わってきています。ただ本人への病名告知や社会復帰のための診断書記載の際など、過去の暗いイメージが大きな抵抗となることが依然としてあり、それを何とか解消しようというのが今回の呼称変更の一番の目的です。当事者団体(患者さんや家族)の支持も得ています。

統合失調症という呼び名が最適かどうかはまだ分かりません。自律神経失調症にも似てあいまいで軽い感じは否めず、かつて精神分裂病の名を前にして多くの精神科医が抱いた緊張感(狂気への戦慄や畏敬の念)は希薄で、物足りなさも感じます。しかし一時的にまとまりを失う状態を意味する「失調」という表現には固定的な印象が乏しく、症状の揺らぎを特徴とする病の本質もとらえていて、私は悪くないと思っています。

もちろん、パッケージだけ変えて中身が同じでは何の意味もありません。新たな名称には、この病に対する精神医学の願いと決意が込められているのです。過去の誤解や偏見を払拭するとともに、新たな烙印を生まぬように原因究明と治療の努力を続けなければならないという意味表示です。

北部病院のメンタルケアセンター(精神神経科)でも、スタッフ全員が新たな覚悟でこの病気に取り組んでいます。薬物療法をはじめ最新の知見に基づく治療法を積極的に導入します。地域にあるさまざまな社会資源(医療機関や生活支援施設)との連携体制も整備したいと考えています。今回の名称変更は昨年横浜で開かれた学会で決められたというのも、当院と何かご縁があるのかもかもしれません。

いずれにせよ病気に対する見方を変えていくには、社会全体の理解が必要なのは言うまでもありません。統合失調症は「精神が分裂する」ような訳の分からない病気ではなく、まして社会から遠ざけるべき危険な存在では決してありません。きちんと対応すれば自立した社会生活を送ることが大いに期待できる治療可能な病気です。患者さんの数が多いことは確かですが(発病率100人に1人とされています)、それだけ身近な病気でもあります。この病気のイメージが変わることで精神神経科全体のイメージも変わってくれば、こんな嬉しいことはありません。皆様のご理解を願う次第です。

北部イベント

合唱とオーボエの調べ

1階会計前ロビー



2月24日(月)19:00より、東洋英和女学院高等部の先生の引率のもとで生徒さんによる合唱コンサートが行われました。
 以前より当院でピアノ演奏のボランティアをさせていただいておりました方の母校の生徒さんとのことをご紹介いただき今回の開催となりました。
 合唱曲は全7曲とアンコール2曲と1時間弱コンサートでした。9名の生徒さんがお揃いの制服で合唱、オーボエとピアノの演奏と今回はいつもとは趣の変わったロビーコンサートになりました。
 東洋英和女学院の生徒さんは他の病院等でもこのようなコンサートを行なっているそうです。今後も当院でコンサートを行なっていたら幸いですので、楽しみにして下さい。

病院機能評価について

本院は今年7月に財団法人 日本医療機能評価機構の病院機能評価を受審することとなりました。「病院機能評価」とはと患者様がより良い医療を受けるために、病院の質を様々な角度から第三者に評価を受けるものです。評価の項目は多岐に渡っており、具体的な項目としては次のようなものになっています。

- 第1領域 病院組織の運用と地域における役割
- 第2領域 患者の権利と安全確保
- 第3領域 療養環境と患者サービス
- 第4領域 診療の質の確保
- 第5領域 看護の適切な提供
- 第6領域 病院運営管理の合理性

本院が今回機能評価を受審することになったのは、本院の理念である『常に心こもる病院でありつづける』『無事故の病院になる』『現在のぞみうる最高の医療を行なう』患者様本位の医療を実現していることを、第三者に評価をうけ、本院が患者様にとって良い病院であるかを確認すること。また、評価で指摘を受けた場合は改善を行ない、より良い病院となることです。

今後も病院だより等を通して皆様には進捗状況をお伝えさせていただきます。

病院機能評価について詳しいことをお知りになりたい場合は次のホームページをご覧ください。
 財団法人 日本医療機能評価機構のホームページ <http://jcqh.or.jp/html/index.htm>

患者様へのお知らせ・お願い

臨床検査基準値一覧表の設置

中央処置室(中央棟2階)の受付に『臨床検査基準値一覧』のリーフレットを用意致しました。院内で行なわれている殆どの検体検査項目の基準値が掲載されていますのでご利用ください。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

3/1付【2/2~3/1】

加澤 玉恵
(消化器)

青木 慶一郎
(泌尿器科)

大塚 尚治
(外科)

日本大学
平成2年卒

昭和大学
平成7年卒

昭和大学
昭和61年卒

異動・退職医師

2/28付【1/31~2/28】

望月 由武人(脳神経外科)

1月31日付

外来担当表

【2003/03/01 改定版】

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初診)	笠原慶太(初診)	鹿間裕介(再診)	大塚寿々子(初診)	西片 光(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初診)	神尾義人(再診)	門倉光隆(再診)	松浦崇行(初診)	医局員(初診)
消化器センター(28-2)	深見悟生		田中淳一		小幡まこと		井上晴洋	薄井信介	大塚和朗	大塚和朗	為我井芳郎(消化器内科)
消化器センター(28-3)	竹内 司	竹内 司	大塚和朗	大塚和朗	深見悟生	深見悟生	中村 泉	永田浩一	為我井芳郎	確井芳樹	日高英二
消化器センター(28-5)	森田賀津雄	森田賀津雄	石田文生	石崎秀信	坂下正典	坂下正典	笠島圭太	笠島圭太	吉田達也		里館 均
消化器センター(28-6)	岩下・小池(奇山口・小池(週))		樫田博史	倉橋利徳	菅谷聡(偶)		竹内 司		倉橋利徳	倉橋利徳	梅里・佐藤
消化器センター(28-7)	渡邊晴生		工藤進英				樫田博史		遠藤俊吾		医局員
循環器センター	緒方信彦(神吉和重)	手取屋岳夫	落合正彦		小原千明	山本 修	落合正彦	佐久間浩子	岡林宏明	加藤源太郎	林宗博(偶)
精神神経科(初診)	工藤行夫		医局員		吉益晴次		田淵 肇		野崎伸次		大嶋明彦
精神神経科(再診)	田邊祐二		大嶋明彦		野崎伸次		吉益晴次		工藤行夫		崎岡岩彦
精神神経科(再診・予約)	山田浩樹		田淵 肇		衛藤暁美	葉室 篤(物忘れ外来)	葉室 篤	衛藤暁美(物忘れ外来)	西岡玄太郎		西岡玄太郎
緩和ケア				高宮有介(事前予約制)					高宮有介(事前予約制)		
内科(23-2)		中村明浩(消化器、肝、膵)	富田高重(消化器、肝、膵)		菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(腎臓内科)		衣笠えり子(腎臓内科)		衣笠えり子(腎臓内科)	衣笠えり子(腎臓内科)	坂下暁子(血液、一般内科)				
内科(23-5)	坂下暁子(血液、一般内科)	高橋 健(腎臓内科)	福井俊哉(神経内科)	福井俊哉(神経内科)	中村明浩(消化器、肝、膵)		福井俊哉(神経内科)	福井俊哉(神経内科)	福井俊哉(神経内科)		富田高重(消化器、肝、膵)
内科(25-2)	佐藤 温(消化器、肝、膵)	佐藤 温(消化器、肝、膵)	佐藤 温(消化器、肝、膵)		木村 聡(一般内科)				佐藤 温(消化器、肝、膵)		
内科(25-3)	田口 進(消化器、肝、膵)	田口 進(消化器、肝、膵)	田口 進(消化器、肝、膵)	田口 進(消化器、肝、膵)			田口 進(消化器、肝、膵)	田口 進(消化器、肝、膵)	田口 進(消化器、肝、膵)		
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		中山文義(腎)(第1火休診)		荻原 徹(糖尿病、内分泌)		荻原 徹(糖尿病、内分泌)		荻原 徹(糖尿病、内分泌)		荻原 徹(糖尿病、内分泌)
内科(25-6)		伊東友弘(消化器、肝、膵)		渡邊浩之(一般内科)			緒方浩頭(腎臓内科)		伊東友弘(消化器、肝、膵)	渡邊浩之(一般内科)	緒方浩頭(腎臓内科)
内科(25-7)			辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(腎臓内科)		辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(腎臓内科)		辻 正富(糖尿病、内分泌)
小児科	野中善治	予防接種予約のみ	野中善治	乳児検診予約のみ(新生児科)	北澤重孝		野中善治	成育外来予約のみ	野中善治	乳児検診予約のみ(新生児科)	医局員
小児科	曾我恭司		板橋家頭夫		高野忠将		曾我恭司		板橋家頭夫		医局員
小児科	高野忠将		京田学晃		京田学晃		高野忠将		藤原大輔		医局員
小児外科		五味 明		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造	宋 寅傑	島田洋子		濱口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	濱口太造	中根里枝	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	中根里枝	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	中根里枝	外科手術	中根里枝	外来手術	中根里枝	外科手術	中根里枝	外来手術	中根里枝	外来手術	
外科	新井一成		新井一成		新井一成		新井一成		新井一成		新井一成(奇数)
外科											黒井亮昌(乳腺外来・乳がん外来)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	池田尚人	医局員		池田尚人	特殊外来	岡村康之		池田尚人		岡村康之(奇)池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)	岡村康之		医局員				桑沢二郎(奇)予約のみ				岡村康之(偶)池田尚人(奇)
整形外科							黒川特診(予約のみ)		黒川特診(予約のみ)		
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギブス予約のみ	池田正典		松久孝行	ギブス予約のみ	池田正典		富田一誠		医局員
整形外科	川崎恵吉		渡邊兼正		富田一誠		川崎恵吉		渡邊兼正		
産婦人科 初診(12-7)	幸本康雄(偶)・横山和彦(奇)		高橋 諄	小林純一郎	高橋 諄	小出馨子	小塚和人		小川公一(小塚和人)		医局員
産婦人科 産科(12-1)	高橋 諄		小川公一		横山和彦		幸本康雄		近藤哲郎		
産婦人科 産科(12-6)	小出馨子			特殊診予約のみ			小林純一郎			特殊診予約のみ	
産婦人科 婦人科(12-8)	小川公一		幸本康雄	小林純一郎	特殊診予約のみ		近藤哲郎	高橋 諄	横山和彦	特殊診予約のみ	
泌尿器科(初再診)	佐々木春明	泌尿器検査予約のみ	医局員		鈴木俊一	泌尿器検査予約のみ	石島直孝		島田 誠	泌尿器検査予約のみ	医局員
泌尿器科(再診)	島田 誠	女性泌尿器予約のみ			石島直孝		鈴木俊一		佐々木春明	ED外来予約のみ	
眼科	泉田美穂	泉田美穂	小池正直	泉田美穂	加藤清子		小池正直	特殊診(小池)	加藤清子	特殊診(加藤)	小池正直(奇)
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	医局員				泉田美穂	特殊診(泉田)	玉井裕子		玉井裕子(偶)
眼科			泉田・小谷	特殊診(小谷)	小谷恵美		加藤清子		小谷恵美		加藤清子(偶)
眼科	小谷恵美	小谷恵美									泉田・小谷(奇数)
耳鼻咽喉科 13-2	門倉義幸(初診)	めまい外来再診・予約のみ	池田尚弘(初診)	小児外来予約のみ	医局員(初診)		徳丸岳志(初診)		医局員(初診)	腫瘍外来(月2)甲状腺外来(月1)予約のみ	医局員(初診)
耳鼻咽喉科 13-2	徳丸岳志(再診)		浅野理恵(再)大嶋健三(再)	小児外来予約のみ	医局員(再診)		門倉義幸(再診)		医局員(再診)	味覚外来予約のみ	
耳鼻咽喉科 13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎	アレルギー-外来予約のみ			池田尚弘(再診)				
耳鼻咽喉科 13-5					補聴器外来予約のみ(奇)				補聴器外来予約のみ		

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤医師です。